

2022年度 日本工学院専門学校											
放送芸術科											
演習 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	240	単位	8
担当教員	山田素子 笹本篤 吉田光男			実務経験	有	職種	映像制作・技術全般				
担当教員紹介											
山田：放送業界で製作業務に従事していた 放送作家・構成作家・ディレクター 笹本：放送業界で編集・後処理業務に従事していた IMAGICAほか 吉田：イベント業界で音響業務に従事していた											
授業概要											
一年次に学んだ制作・カメラ・編集・照明・音声・美術の専門知識をより実践的に学ぶべく合同による中間制作を実施。 映像制作の流れを理解すると共に機材の使用方法や使用用途など、各分野の具体的かつ実践的な知識を身につける事を目的とする。											
到達目標											
映像技術を専門的に学ぶ学生については実践から機材の使用方法・使用用途を学び映像作品を完成させる。 また、制作を学ぶ学生については企画・制作進行・演出から完成までの全過程に関わる事でコミュニケーションスキルは勿論、責任感を備えたリーダーシップスキルと決断力・実行力を向上させる事を目標とする。											
授業方法											
ドラマ班・番組班・CM（MV）班の3班に分けそれぞれのジャンルで作品の企画立案。 脚本・台本の執筆から収録準備を行い撮影・収録を行い、最後に編集・整音作業を行い作品を完成させる。 尚、作品制作は全てチーム制作とする。											
成績評価方法											
試験・課題	75%	実習における成果物を総合的に評価する									
平常点	25%	積極的な授業参加度、受講態度などによって評価する									
履修上の注意											
評価については実習の特性（チーム制作が主となる為）から成果物のクオリティ以外にも出席を含む平常点が重視される事を理解する事。尚、実習内容については制作・カメラ・編集・照明・音声・美術の各専門分野によって一部異なる。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
必要に応じて授業内で配布											
回数	授業計画										
第1回	プレゼンテーション			企画のプレゼンを行い課題作品を決定する							
第2回	班分け～企画			班分け～チームによる企画のブラッシュアップ							
第3回	企画			チームによる企画のブラッシュアップ～企画概要の決定							
第4回	リサーチ			ロケ地・取材対象のリサーチほか							
第5回	撮影準備（リサーチ）			脚本・台本作成、撮影仕込み①							

2022年度 日本工学院専門学校		
放送芸術科		
演習 3		
第6回	撮影準備（リサーチ）	脚本・台本作成、撮影仕込み②
第7回	撮影準備（リサーチ）	脚本・台本作成、撮影仕込み③
第8回	撮影準備（リサーチ）	脚本・台本作成、撮影仕込み④
第9回	撮影準備（リサーチ）	脚本・台本作成、撮影仕込み⑤
第10回	プレゼン準備	中間制作プレゼンテーションの準備
第11回	中間制作プレゼンテーション	技術コースの学生に対して全作品の企画概要を説明
第12回	技術打ち合わせ	技術コースへ撮影内容の説明を行い問題点の洗い出し
第13回	ロケハン	ロケ地の下見を行い撮影内容の確認、問題点を洗い出し及び改善する
第14回	ロケ撮影	ロケ撮影①
第15回	ロケ撮影	ロケ撮影②
第16回	ロケ撮影	ロケ撮影③
第17回	ロケ撮影	ロケ撮影④
第18回	ロケ撮影	ロケ撮影⑤
第19回	編集	編集作業①
第20回	編集	編集作業②
第21回	編集	編集作業③
第22回	編集	編集作業④
第23回	編集	編集作業⑤
第24回	編集	編集作業⑥
第25回	MA	ナレーション収録・整音作業
第26回	MA	ナレーション収録・整音作業
第27回	MA	ナレーション収録・整音作業

2021年度 日本工学院専門学校		
放送芸術科		
演習 3		
第28回	スタジオリハーサル	スタジオ収録のリハーサルを行い問題点の洗い出し
第29回	スタジオ本番	スタジオ収録本番
第30回	プレビュー/反省会	完成作品のプレビューから反省点を洗い出し今後の作品制作に生かす